

階級的労働運動再生の手引き

労大ハンドブックⅢ『やがてくる日と』と希望

第9回

東京ブロック

## 第九章 第三次合理化と三川坑大災害

司会（佐久間）：第九章 第三次合理化と三川坑大災害です。西部県協の福田健一さんからレポートをお願いします。

三池労組のシンボル・

三本線の創意とは

福田：前号では、三池労組員1200名の指名解雇は絶対許さないとという家族ぐるみの闘いで、「去るも地獄、残るも地獄」のスローガンのもと取り組まれました。

これはまた、日米安保の闘いと結合し、一大国民的な政治闘争に発展しま

したが、勝利することができず、長期抵抗闘争を決意したところです。

今回は、1960年12月1日、坑

内帽に白い三本線を巻いて、主婦会の激励を受け就労に入りました。この三本線は、フランス革命のスローガン「自由・平等・博愛」にちなみ「団結・抵抗・統一」を意味するもので、長期抵抗路線のシンボルとなりました。

また、三池労組員であることが坑内でわかるようにと生まれました。この「三本線」こそ大闘争を闘い抜いた誇りと、労働者階級の連帯の決意を示しました。

一方、職制は長いロックアウト中に資本家的に洗脳され、番犬化していました。

第二組台と連携をとって、分裂支配の権力を最大限に使い、「作業指示」や「命令」を押し付けるなど、特に、差別政策がひどくなってきました。

**差別攻撃は組織攻撃である**

一斉就労から18日目、三池労組は定期総会を開催しました。議論は予定に反し、緊急を要する「会社の差別と組織介入にどう対処するか」が中心に

## ◆みんなの学習講座



レポーターの福田さん

なりました。

総会は、差別待遇の狙いを次の三点にまとめて提起され、①組合員を脅迫し脱落に追い込む。②差別待遇で闘志をなくさせる。③故意に挑発し落とし穴にはめ込む。という攻撃で組織の弱体化を狙ったものと捉えました。具体的には、「メモ化闘争の集約」を基礎とした職場交渉、実力行使の態勢を確立することを確認しました。

### 全国的連帯の再構築

総会では「指名解雇は絶対認めない」という立場から法廷闘争と就職闘争を三池労組の重要な闘いの指標としました。さらに、総評・炭労・三鉱連との連帯強化を深めることを確認しました。炭労も大会で「三池の差別反対闘争」が提起され、総評の春闘の一環に設定されました。そして、①各単産の機関紙による宣伝、②三池からのオルグ派遣等を取り組み、抗議の産業別ストライキ体制を確立する方針を打ち出しました。

### 保安無視により死亡災害が多発

一方、スト権を売り渡した第二組合は、職制の言うがままの状態でした。落盤事故、PCチェーンではねられるなど死亡事故が続き、第二組合に共闘を申し入れるも拒否されました。

### 会社の基本的態度は

- ①労使関係の安定。
- ②生産こそ企業の安定。

### 組合の態度は

職制による一切の組織介入中止。日々の配役等の均一化・一時配転の同比率化。保安機構の確立と諸委員会の民主化。生産計画では、無理な作業にならないような人員計画を要求する。

### ねらいは組合活動の全面禁止

次の会社提案がされた。集会所の返還。放送施設の撤去。繰り込み場における行動の中止。柵内掲示は連絡程度にとどめる。メモ化については中止。昼食休憩時、社宅内での宣伝や学習会はやめよ。坑内帽（ヘルメット）の三本線を廃止。団結旗の掲揚を撤去等々。



三川鉱第一斜坑付近の惨状

## 差別反対 抗議の方別スト

1961年、宮川組合員以下36名の解雇通告が出る。皆が創意工夫しながら抵抗をしました。

各支部間の職場交流では、賃金差別

や組織介入、差別をなくすためには、脱落をなくす以外にない、となる。本来、資本主義社会において労資正常化はあり得ないのだから。

### 第三次合理化と不調印闘争、

#### 五人組の組織化

三井資本は差別と弾圧を武器に一段と組織破壊攻撃を強めてきました。職制と第二組合でペアを組み、出勤扱いで家庭訪問し、説得行動を展開しました。

三井資本による保安無視・無権利と強制労働が強まり、死亡災害が激発第二組合内部にも不満が増大しました。不満を組織するのも五人組の日常生活でした。指導三原則（大衆性、指導性、規律性）を基本に抵抗闘争とおして統一闘争の意思統一をしました。1963年2月に第三次合理化が提案された時、私たちの分会では、「重

大な災害が必ず巻き起され」「生命と生活が奪われるような合理化は反対である」と、不調印闘争に大多数が賛成しました。

### 生命と生活を奪う

#### 資本主義的合理化

三井資本は生命の危険をとまなう保安を無視する合理化を強行してきました。炭塵清掃員を大幅減、さらに、炭塵を飛散させないための岩粉散布、散水がサボられました。

それで、1963年11月9日、三川坑炭塵大爆発を誘発し、458人の労働者が殺され、839人がCO患者にされ、廃人にされました。保安サボによる人災でした。

司会（佐久間）…福田さんからレポートしていただきました。皆さんから疑問や質問を出してください。

## ◆みんなの学習講座



労働大学事務所にある 三本線坑内帽

### 坑内帽になぜ三本線を

島田…三池労組員であることが坑内でわかるようにするだけなら、三本線ではなく、白いヘルメットでも良かったんじゃないですか、なぜ三本線にしたんですか。

高井…三本線の意味は、「団結・抵抗・統一」を意味するもので、大事なことは、三池労組員が大闘争を闘いぬいた誇りと労働者階級の連帯の決意を

示したんじゃないですか。

芳賀…やむなく就労闘争に入る時に、坑内帽に三本線を引いて入った。我々労働者が、社会の主人公だから誇りと自信を持って、自分たちのめざす目標に向かった決意を、表わしたんじゃないですか。

司会（佐久間）…島田さん、やっぱり白いヘルメットでは駄目だったんですよ。この三本線には、そういった三池労組員のたたかった誇りが込められているんです。

他に何かありますか。

### 組合バッチで、賃金差別

渡部…49ページに差別政策がひどくなってきたとあり、昔も今も資本の分断支配は変わりないとあります。私も国労バッチを付けていて服装の整正違反ということ、定期算給で4号俸上

一時金支給でも5%カットされました。

高井…地下鉄の職場では、私鉄連連のバッチや春闘バッチを帽子に付けていて、具体的に1号俸カットということはありませんが、昇給昇格で必ず差別されました。

島田…京成電鉄では、春闘時に横断幕を外に張り出す行動に対して、昇給昇格で大きな差別が付けられたということがありました。

槍崎…三池では、的確な指導と組合員家族の団結がなければたまたか継続できませんでした、と述べられています。

国鉄の分割民営化の時にたまたかってきた者として、実感します。

磯部…テキスト50ページに総会では、「法廷闘争と就職闘争」を三池の重要なたたかしの指標とあります。就職闘争とは、どんなたたかいたったんですか。

槍崎…ちよっと意味合いが違うかもしれませんが、国鉄分割民営化の前年に、

人材活用センターが作られ、希望もしていないのに、踏切の配線図を書き直し、信号器真箱のペンキ塗りなどをさせられました。見せしめ的なことをやられました。新会社に採用されずに自分で見つけなくてはならないのかと思つたことがあります。

**高井**…指名解雇になると、生産阻害者ということになってしまふので、そうさせないために、会社だけの世話ではなく国も世話をして、次の就職先を見つけたらというたたかいでした。

**渡部**…次の質問ですが、51ページにPCチェーンにはねられ死亡とあります。PCチェーンというのは、何でしたか。

**高井**…テキスト39ページ下段にあります。パンツァーコンベアーのことです。ドイツ語で鏡を意味する「Panner」に由来するコンベアーの一種で、特に炭坑の長壁切羽など過酷な環境でも耐えられる頑丈な構造が特徴

とありました。

### 会社は、なぜメモ化をいやがる

**司会（佐久間）**…52ページの組合活動の全面禁止の中に、メモ化については中止と言っています。会社は、なぜ、「メモ化を中止しろ」と言うのだろうか。

**田口**…会社にこんなこと記憶ありませんと言わせない為にもメモ化は、具体的な証拠になるし、要求が可視化できる、そういう経緯があります。だから会社はいやがったのではないですか。

**芳賀**…昔、『点検摘発手帳』にこんなことを会社は言ってきたとメモ化し、交代勤務の反対番との引継ぎ時に、情報を共有し合つて、力になりました。  
**島田**…組合青年部のたたかいでメモ化をすることで、不平不満を出し合い、要求を共有化して、たたかいを組織したことがあります。

### 不満を組織する五人組活動

**司会（佐久間）**…不満を組織するのも五人組の日常活動とありますが、どうですか。

**高井**…どんな職場でも、不満がない職場はない、声に出していない不満を組織するということですよ。昔は、明け番のたんびにお茶のみしたりして、その中で不満を言い合いたね。もうちよつと言つと愚痴を聞くということですよ。

**芳賀**…今、労働組合が機能していないが、労働組合の重要な役割です。三池から学ぶ必要性があります。不満を持つている労働者を一人も救えなくて、労働者階級全体を救えないよね。

### 大衆性、指導性、規律性

**司会（佐久間）**…次にテキスト53ページに特に指導三原則（大衆性、指導性、

## ◆みんなの学習講座



救助隊によって昇坑する遺体

規律性)は、今の私たちの友の会運動でも、非常に問われる中身になると思います。皆さんの経験から指導三原則についてお話をいただけるとありがたいです。

島田：大衆性が大事だということばかりですが、俺の職場には気分が悪いと朝の挨拶もしない人がいます。自分はそういう人を見て、反面教師にしたいと思います。まずは挨拶からではないでしょうか。

磯部：友の会運動では、学習会を組織することで指導性は高まると言われているけど難しいと思います。それには学習会を自分がやり切ることだと思えます。

槍崎：規律性ということでは、決めたことは、必ず守るということではないでしょうか。決めた時刻には集まることは勿論です。決め合ったことを守ることは、お互いの信頼の土台になると思います。しかし、今日も時間に遅れて、すみませんでした。

芳賀：皆さん、だいぶ苦労しているみたいですが、指導三原則については簡単ではありません。私たち自身が創っていく、私たちが運動を進めていく時に重要な方向性を示していると思えます。

司会 (佐久間)：次に、54ページに大災害は、人災だとテキストで整理されていますが、皆さんはそのことをどう思いますか。

田口：自分の経験からいうと、安全ということに会社は、金を使わない。「金食い虫だ」「安全からは利益はあがらない」と言っています。

駅のホームドアは、安全対策だけど莫大な金が使われて、ホーム要員も削られています。自分も人災だと思います。

柳沢：コンビニエンスストアで最近あった、おむすびの賞味期限の偽装なんかは、典型ですね。結局、「お客様第一」「安全第一」というけれど、利益が第一主義です。

司会 (佐久間)：今日は、福田さんから激闘後の第三次合理化と三坑大災害、不調印刷争・保安サボについてレポートしてもらい、皆さんと経験交流で学び合いました。

次回は、北部県協の仲間から第十章「長期抵抗・統一路線」のレポートで、五人組運動、職場地域での家族ぐるみも学習したいと思えます。